

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 8 月 17 日

計画の名称	2 泉佐野市下水道整備計画		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	泉佐野市
計画の目標	下水道整備を計画的に行い、市民にとって快適で衛生的な生活ができる街づくりを目指す。		
計画の成果目標 (定量的指標)	・下水道処理人口普及率を30.8% (H22年度当初) から34.3% (H26年度末) に増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式	$\text{下水道処理人口普及率} = (\text{下水道を利用できる人口 (人)} / \text{総人口 (人)})$		定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初) 30.80% 中間目標値 (H24末) 33.30% 最終目標値 (H26末) 34.30%
全体事業費	計画実績	合計 (A+B+C)	備考
	1,962百万円	1,912百万円	13.3%
	A	1,701百万円	16.8%
	B	1,591百万円	
	C	0百万円	
		261百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
		321百万円	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成27年9月
泉佐野市において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証し、今後の整備方針を検討することとした。	公表の方法
	泉佐野市のホームページ上で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	汚水	新設	湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業	φ200~450mm, L=11,113m	泉佐野市						1,591.1	
1-A-3	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	雨水汚水	-	湾岸中部処理区 施設計画策定	施設計画策定 全体計画区域	泉佐野市						0.2	
小計 (下水道事業)											1,591.3						
合計											1,591.3						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-	
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	汚水	新設	湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業 (支線)	φ200mm, L=2,690m	泉佐野市						312.1	
1-C-3	下水道	一般	泉佐野市	間接	個人	汚水	新設	水洗便所改造奨励金交付事業	交付金5万円×180件	泉佐野市						9.0	
合計											321.1						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-C-1	基幹事業(1-A-1)で実施する汚水管渠と接続する汚水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																
1-C-3	水洗便所改造奨励金を交付することにより下水道利用を促進し、事業効果拡大を図る。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

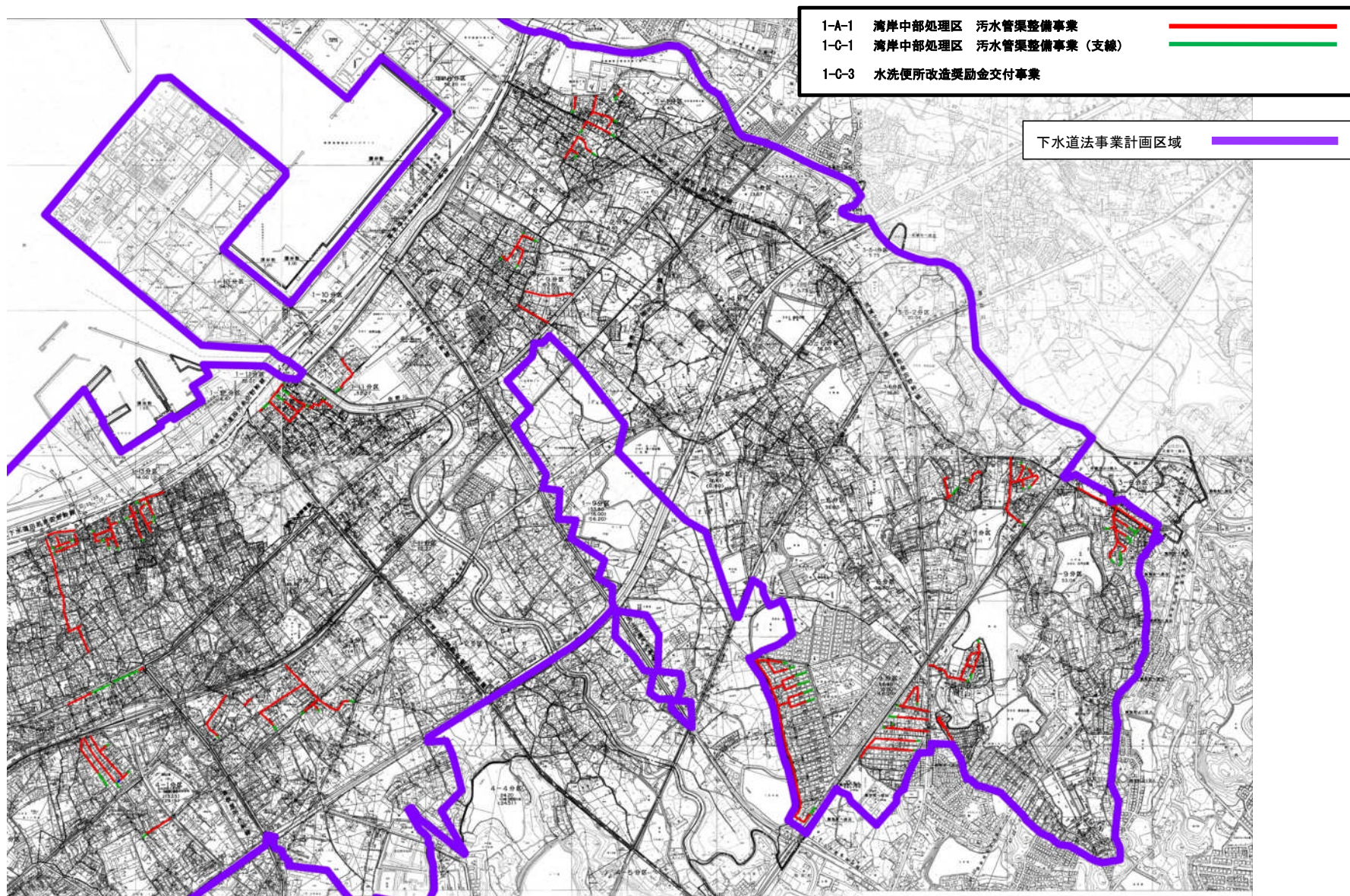
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・良好な水環境の保全に資する事業として、計画的かつ効率的な下水道整備区域の拡大により、下水道処理人口普及率の目標達成とともに、公共用水域の水質保全が図られた。 ・下水道利用を促進することによる「生活環境の改善」や「公共用水域の水質保全」などの事業効果の早期発現によって、将来にわたり快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。				
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道処理人口普及率	最終目標値	34.30%	目標値と実績値に差が出た要因	本整備計画対象事業のほか、早期の普及促進に必要な事業として市単独事業など、他の整備すべき路線整備を進めたことにより、目標値を上回る整備となった。 【目標値の算出根拠】 34,953人 ÷ 101,904人 × 100 = 34.3% 【実績値の算出根拠】 35,691人 ÷ 101,221人 × 100 = 35.3%
		最終実績値	35.30%		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項 (今後の方針等)

平成22年度から平成26年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標 (下水道処理人口普及率) は目標を達成することができた。今後は、本市の汚水整備状況及び経営状況に鑑み、下水道事業経営の健全化を図ると同時に、交付金を活用し、更なる計画的、効率的な汚水整備による普及促進に努め、「生活環境の改善」・「公共用水域の水質保全」などの事業効果の早期発現を図り、快適で衛生的なまちづくりの推進に取り組んでいくものとする。

(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画	交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画	交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

- 1-A-1 湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業 —
- 1-C-1 湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業 (支線) —
- 1-C-3 水洗便所改造奨励金交付事業

下水道法事業計画区域 —

